

単位数	必履修・選択	レポート数	出席義務時数	テスト回数
2	選択必履修	6	8	2

教科書	学習書・他教材
改訂 新編化学基礎（東京書籍）	なし

学習目標

物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方をはたらかせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付ける。

学習計画

学習項目	学習内容	試験範囲
序章 化学と人間生活 1 物質の成分と構成元素 2 原子の構造と元素の周期表 3 化学結合	<ul style="list-style-type: none"> ・人類が探求、利用してきた物質 ・物質の性質と分離、物質の成分 ・原子の構造、電子配置と周期表 ・イオンとイオン結合、金属と金属結合、分子と共有結合 	前期試験
4 物質質量と化学反応式 5 酸と塩基 6 酸化還元反応	<ul style="list-style-type: none"> ・原子量・分子量と物質質量、化学変化の量的関係 ・酸と塩基、水素イオン濃度とpH、中和反応と塩の生成 中和反応の量的関係と中和滴定 ・酸化と還元、酸化還元反応の利用 	後期試験

評価規準と評価方法

次の4つの観点に基づき評価を行います。

- ① 関心・意欲・態度：日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。
- ② 思考・判断・表現：物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
- ③ 観察・実験の技能：物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
- ④ 知識・理解：物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

評価方法・観点	①	②	③	④	備考
スクーリング状況	◎			○	プリントの活用状況
レポート	○	◎	○	◎	提出状況、評価
定期考査		○		◎	年2回実施
実験レポート	◎	◎	◎		スクーリング時、実験教室時の実験

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

- ・定期考査の成績、提出レポートの評価、そのほかスクーリングや実験への取り組みなどを加味し、総合的に評価します。
- ・各レポートにA～E（Eは再提出）の評価をつけます。提出期限を過ぎたレポートは大幅に減点します。必ず期限を守って提出してください。

授業の進め方、課題・提出物など

スクーリングはレポート（報告課題）の内容に沿って実施します。スクーリングで簡単な実験を行い、プリントに結果を記入し提出してもらいます。スクーリングに出席できない場合は、レポートにある自宅実験を行い、結果や考察等を記入し提出してもらいます。特別教室、校外学習もあるので積極的に参加してください。

学習方法

レポートは教科書や学習書を調べ、自分で作成してください。ヒントとなるページが掲載されている場合はそこを通読して取り組んでください。また、スクーリング時にはレポートの内容の解説も行います。まずレポートに挑戦して、その後にレポートに対応したスクーリングに参加すると、学習効果が上がります。

自学自習が基本です。自分で調べてわからないところは、いつでも担当者に質問してください。

担当者から

- ・スクーリングはチャイムと同時に始まりますので、教材を用意して着席をしていてください。他人の迷惑になるので絶対に遅れないようにしてください。
- ・NHK高校講座や図書館などを利用し、自学自習を心がけてください。
- ・化学は物質について学ぶ科目です。実験などを通して楽しみながら、身の回りの事象と結びつけながら理解してください。